

おわりに、簡単な自己紹介

神奈川県小田原市出身。早稲田大学理工学部数学科（数学基礎論・数理論理学ゼミ）卒。
システム・エンジニア、インターフェース・プランナーを経て鍼灸指圧師になりました。

サラリーマン時代にエキスパート・システムの勉強をしていたこともあり、鍼灸のエキスパート・システムができると良いなと思っています。推論エンジンは、漢方の物と同じでよいとして、知識ベースを作っていく必要があるなと思います。それで、主に和方鍼灸の共通部分を探しています。江戸時代の『鍼灸重宝記』、『鍼道発秘』、『杉山真伝流』、『名家灸選』なども利用しながら。他に何か江戸期和方鍼灸の良い本をご存知なら、教えてください。よろしくおねがいします。

鍼灸の基礎理論としては、「ツボは、筋肉の機能性病変。経絡は、筋肉の庇い合い。鍼灸は、筋肉の機能性病変の改善を通して身心の歪みを改善し、治療している」ということが基本だと思います。高知の西田皓一先生、岩手の増田進先生、石川の加茂淳先生たちと、技術的にはほぼ同じかと思います。操体をまとめた橋本敬三先生も、「操体鍼灸をはじめとする東洋物療は、運動系軟部組織の改善が基本」という意味のことを言っています。同じ内容だと思います。

研究としては、漢方鍼灸活用日本型医療創生prjの医師の先生達のデータマイニングによるものと、明治国際医療大学の伊藤和憲先生のTPの異常活動電位の研究に注目しています。どちらも鍼灸の知識ベースに関係しそうなので。

術伝流鍼灸講座テキスト 体は自然、治療は対話、鍼は引き鍼

2015年10月14日 第2版

著者 愉兪庵遊風・颯風颯雷電こと金子 芳幸

発行 術伝（和方養生技術伝承塾） jutsuden-jmkk@googlegroups.com

© 2011~2015 KANEKO, Yoshiyuki